えすぽわーる

1
2015
No.149
—SHINHAKODATE—

えすぽわーる新函館はＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌です

CONTENTS

◆新年組合長挨拶 ②
特集 新春特別懇談会 ③
◆われら未年 ⑥
◆あぐりねっと風だより ⑧
せたな・北斗
◆トピックス ⑨
第６３回全道ＪＡ青年部大会　他
◆街の生き粋女性 ⑪
◆あぐりレッスン ⑫
◆年末年始の営業時間のお知らせ ⑮
◆地産地食図鑑 ⑯

JA新はこだて
http://www.ja-shinhakodate.jp/

新年明けましておめでとうございます

新函館農業協同組合
代表理事組合長
畠山 良一

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご健勝で新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の世界経済においては、中国での人件費上昇や過剰投資是正圧力による景気減速、ユーロ圏では、欧州各国が財政緊縮一辺倒の姿勢を見直すなか、景気の大幅下振れリスクは後退しているものの、景気後退の長期化が、下押し要因となり、未だ減速傾向が続いています。一方、アメリカでは、シェールガス革命を背景に製造業は劇的な復活を遂げ、住宅市場や労働市場も顕著に改善するなど、景気は徐々に力強さを増しています。このように世界経済全体としてみると、新興国では中国の影響が相対的に大きいため足踏み傾向、先進国については回復基調となっています。しかし、日本経済については、投資や輸出などが好調ではあったものの、急激に円安が進んだ事から、燃料や原材料価格の高騰を背景に産業間に大きな開きが生じています。

農業をめぐる状況においては、中国・北京でのTPP閣僚会合・首脳会合後に発表された首脳声明では「終局が明確になりつつある」とされたものの交渉妥結の目標時期についての言及はありませんでした。今後も国会決議の実現を目指し、JAグループ一丸となって粘り強い運動を展開して参ります。一方、農業政策では、新たな米政策ならびに経営所得安定対策が見直され、米・水田農業政策の方向性が大きく変わりました。米の直接支払交付金の減額をはじめとして、農家所得は大きく減少しており、改めて生産者が安心して経営が出来るよう、引き続き行政・関係機関との協力のもと農業政策への提言を行ってまいります。また、政府は、昨年6月、規制改革会議の答申を踏まえ「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。時代の変遷とともにJAを取り巻く環境は変化している事から、組合員のためのJAであるという基本をしっかり認識したうえで、今後もより一層、組合員の所得向上、持続可能な農業の実現に向け邁進してまいります。

昨年の管内農業は、米価の下落や野菜などの収穫量の減少や価格低迷に伴い、農産物の取扱額は大きく減少し厳しい結果となりました。一方、酪農畜産においては、取扱数量が、ほぼ横ばい傾向であったものの、乳価の値上げや、個体販売についても高値で取引されたため実績を伸ばすことが出来ました。農畜産物を合わせたJA総体の販売取扱額は、それぞれに増減はあったものの、ほぼ計画通りの見込みとなっています。

今年は、第4次「地域農業振興計画」及び「中期経営計画」の2年目となります。基幹支店ごとの地域振興対策の実践により、安定した生産体制の構築及び農業経営の安定化に努めてまいります。

最後に、本年が豊穣で、組合員皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

会長理事	小野寺 仁	佐藤龍彦（企画管理・信用共済委員長、北渡島地区運営委員長）	輪島 桂	代表監事	齊藤幸利
代表理事組合長	畠山良一		時田孝喜	常勤監事	鈴木誠彦
代表理事専務	日比野浩章	進藤貞夫（南檜山地区運営委員長）	金子周治	監事	下川部洋
常務理事	的野敏夫	横道重人（せたな地区運営委員長）	髙瀬幸巳		落合修
常務理事	田村廣幸（信用・共済担当）	小西勝則（南渡島地区運営委員長）	松本一徳		中富清明
理事	田中猛一（営農販売・経済委員長、七飯・函館地区運営委員長）	春山豊満（大野・上磯地区運営委員長）	舟田進一		
		甲田直嗣（森地区運営委員長）	平田克則		職員一同
		笠原一雄	山下敏雄		

特集

新春特別懇談会

連携して地域農業の活性化を

特別企画として新年に向けて、地域農業をけん引する組織の代表の方々、髙橋陽一青年部長、田原和子女性部長、そして当JAの畠山良一代表理事組合長の3人に、懇談でこれからの目標や意気込みを語っていただきました。

―活動をしていく中で、現在大きな課題として感じるのはどのような事ですか？―

地区活動と全体活動

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

畠山組合長　前回の懇談から5年ほど経って、青年部のあり方や女性部のあり方など、農協も変わったけど、農業自体相当変わってきていて、代表の人は大変だと思います。

髙橋部長　青年部では人が集まりにくくなってきました。青年部で取り組んでいる事を、部員全員にきちんと伝えきれていなかったので、青年部で何をやっているのか判ってもらえていないのではないかと思います。広域だとなかなか難しいですが、地区を越えて集まってもらいたいというのは、すごく強く思います。

田原部長　女性部も同じで、全体でできることは限られます。夏は夏で忙しくて出られなくて、冬は移動が問題。1～2時間掛かる地域もありますし、バスを出せば経費が掛かりますので、集まるというのは大変な事。今のところ各支店の活動を中心にして、全体で集まるのは総会を入れても年に2～3回くらいしかないというのが現状です。

畠山組合長　女性部については、支部ごとの活動に重点をおいて、楽しくやってもらいたい。全体で集まるのは年に2～3回を目安に、女性部には普段の息抜きができるような集まり方をしてもらいたい。けれども、青年部は期待する

代表理事組合長
畠山　良一

支援をしていきたい。

髙橋部長　若手が使えるお金が増えれば、もっと活動が充実したものになります。

田原部長　これからの若い人が夢を持てるような体制を取っていって欲しいですね。

―5年、10年後の将来展望と、その目標に向けて取り組んでいきたい事は何ですか?―

職員との意見交換の場を

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

髙橋部長　やりたいことは色々あります。色々な会議に出て、農業センサスを見ると、道南の農家人口などの将来予測が数字に出ていて、これはやばいなって率直に思いました。青年部が自分たちで将来を考えなきゃならないと思います。そこで少し前に、同年代の農協職員との意見交換を実施しましたが、年に1回ではなく回数を増やして「未来を語る会」(仮称)として色んな物事を話し合う場を設けたいです。色々な現状を考えたときに、ホントに今何かやらなきゃならないという危機感があります。

畠山組合長　その意見交換を見ていて、いい取り組みだと思いました。これからも意見交換はぜひ必要だと思います。職員にとっては、何を聞かれてもいいように改めて勉強をする機会にもなると思うので。

髙橋部長　今回は、各地区部長とおよそ同年代の本店職員とで話し合いましたが、資材の話題で盛り上がりました。

田原部長　やっぱりそこが一番気になるところですからね。

髙橋部長　ざっくばらんに話し合うことができたので、ハッパをかけるような場面もありました。

畠山組合長　役員から言うのも大事だけど、同年代の若い人から言ってもらった方が職員に響くと思います。

田原部長　若い人同士で刺激し合う事が大事ですね。

畠山組合長　ざっくばらんに話し合っていくと、面白い事が出てくるかもしれない。例えば資材では、コスト削減するのにはどうしたら良いか、もう一歩頭を切り替えないと。今の若い人はパソコンを叩いてインターネットで勝ったりする人もいるので、販売方法にも工夫が必要。資材などの購買事業が成り立たないと、営農指導であったり、色々な農協事業に繋がっていかない。組合員に利用してもらうためにも、残った手数料は後々こういう事で還元する、あれで還元するといった具体的なものがないと伝わっていきません。

髙橋部長　具体的な特別感がもっと欲しいところですね。

畠山組合長　今回のＪＡ改革で、農協は要らない、中央会は要らないという人はいなかった。

田原部長　そうですね、論点はそこではなかったですね。

畠山組合長　農協は必要だという認識は持たれているから、具体的にどういう風に必要なのかを伝えることが課題です。

花嫁探しを成功させるために

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

畠山組合長　花嫁対策も大きなテーマです。

髙橋部長　今年は、半分以上の地区で婚活イベントを開催して、イベント当日の成績は良かったのですが、せっかく成立しても離れてし

ところが別なので、やっぱりいろいろ勉強してもらいたい。支店だけの活動に参加していると、その地域の事しかわからなくなります。もう少し頑張って、色々な地区と交流して考え方を吸収してもらわなければ農協自体良くなっていきません。そこは期待しているところであり、頑張ってほしいと思っています。

田原部長　若い人に頑張ってもらわないと。これからの農業が続いていかないですからね。

畠山組合長　全道的に新規就農者への支援に力を入れており、うちの農協はもっと力を入れて欲しいと言われています。もちろん新規就農者も大事だけど、私はもっと農家の子どもである担い手に手厚い

女性部長
田原　和子

まう人が出てきたりしているのが現状で、その後が大事だと感じています。

田原部長　その後の交際をはじめてから結婚するまでが難しい。その次は各家庭、母親の存在が一番大事だと思います。

畠山組合長　農協だけでなく行政も少子化は課題になっています。行政といっしょに連携して支援できるようにしていきたいと思いますので、これからも花嫁対策には力を入れてほしい。農協が合併した当初はやり方が合っていなかったのか、3年くらい1人も成立しなかった。最近は専門の講師からアドバイスをもらったりして成果が出ている。

髙橋部長　講師からはコミュニケーションの取り方を教わるくらいですが、効果は出ています。

畠山組合長　一番大事なのは、本人たちの意思。アンケートを見れば結婚する気がない人もいる。真剣に結婚したいと思っていても、その人たちが少数だったらその地区はなかなか行動に移れない。

髙橋部長　花嫁対策については青年部が自分たちで考えないとできないですね。

田原部長　そうですね、周りから言われてやる事じゃないと思います。

髙橋部長　応援していただければ、とてもやりやすいです。

田原部長　けれども「結婚する気がない」と思われるのは、女性の家庭での子育て、次の代を育てる教育がきちんと出来ていなかったという、私たちの責任も感じます。

若い女性が参加したくなる女性活動を

◇◆◇◆◇◆◇◆

田原部長　女性部の全道大会では、フレッシュミズの方が壇上で「女性部が何をする会なのか理解できません」といった意見を述べていました。女性部は年齢層が上がってきていますので、女性部の存在意義をしっかり伝えていかないと、次に繋がっていきません。

世の中全体、地域農業、家庭を良くするためには、人を育てることが大切。これは私たち女性の役目です。そのために女性部で色んなお話を聞いたり、色々な所で勉強したりしているのだと思います。

畠山組合長　昔あった普及所主催の若妻会が今は無くなり、フレッシュミズもない地域があるから、若い女性の集まる機会が少なくなっています。

髙橋部長　今では普及センター主催の「レディースセミナー」がその場に当たりますね。これが活発になればいいと思います。

田原部長　そういった活動を女性部でもしてみたい気持ちはありますが、女性部では逆にうまくいかないと思います。

髙橋部長　同じくそう思います。いろんな年齢層が集まる活動の他にも、若い世代だけで集まれる機会があればいいと思います。

田原部長　そういった場が求められているというのは感じています。私の地域ではミニバレーや焼肉などをやってみると、若い人たちで盛り上がっているので、見守っていきたいです。

畠山組合長　青年部員が結婚相手を見つけることと同時に、結婚した人が農家で楽しくいられるように並行していかないと、上手く繋がっていかない。

田原部長　その流れが大事ですね。成果がなかなか出にくい部分もあると思いますが、良い循環が出来るように取り組んでいかないと将来的に地域農業がダメになります。

髙橋部長　いろんな楽しみができて、農家も楽しくなって生活も楽しくなります。

田原部長　そうなればもう万々歳ですよね。

▲将来への目標を熱く語る３人

江差町
糸畑 重寿さん
昭和54年生まれ

今年は昨年の反省を生かし、何事も充実した１年にしたい。

今年の抱負

２０１５年も幕が開け、この輝かしい午年生まれ（昭和6年～平成3年）の方々に、今年の抱負を漢字一文字で書いてもらいました。

われら未年!!

せたな町
高橋 洋平さん
昭和５４年生まれ

昨年は、自分の思うように養豚生産をできるようになったので、今年は自分のやりたい農業に向かって進んでいける年にしたい。

厚沢部町
吉田 藍さん
昭和５４年生まれ

真の心を持って旦那と一緒に今年も１年、農業に励んでいきたいと思います。

木古内町
佐藤 智子さん
昭和４２年生まれ

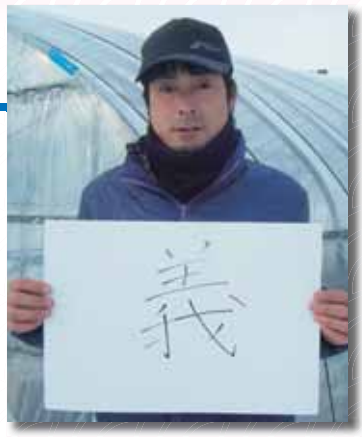
家族みんな楽しく、楽な生活を。

知内町
野口 順子さん
昭和３０年生まれ

仕事をする力、エネルギーを作る力、みんなの力、頑張る力、今年もパワーを頂いて力強い１年でありますように。

北斗市
山本 隆久さん
昭和５４年生まれ

「義」という文字にあるように、人のために尽くす１年にしていきたい。



北斗市
山田 房子さん
昭和３０年生まれ

穏やかな生活を過ごしていきたいです。

函館市
石田 知義さん
昭和６年生まれ

何事もなく家族全員、笑顔で健康に過ごすことです。

七飯町
小松 忠一さん
昭和３０年生まれ

３月に初孫が生まれる予定なので、楽しみで幸せいっぱいです。

八雲町
獅子原 誠司さん
昭和５４年生まれ

酪農や軟白ネギ、もち米すべて頑張ります。

森町
黒田 貢さん
昭和４２年生まれ

来年度は資材代等の増加が見込まれている中、農産物収量の増加・価格の増加に繋がる様農作業に励みたい。

大野支店　生産施設課
成田 健人さん
平成３年生まれ

初めての事ばかりですが、常に自分に負けないように励みます。

農協野球部のキャプテンになりましたので、強いチームを目指します！

八雲町
小林 幹至さん
昭和５４年生まれ

活き活きと、生活します。

若松

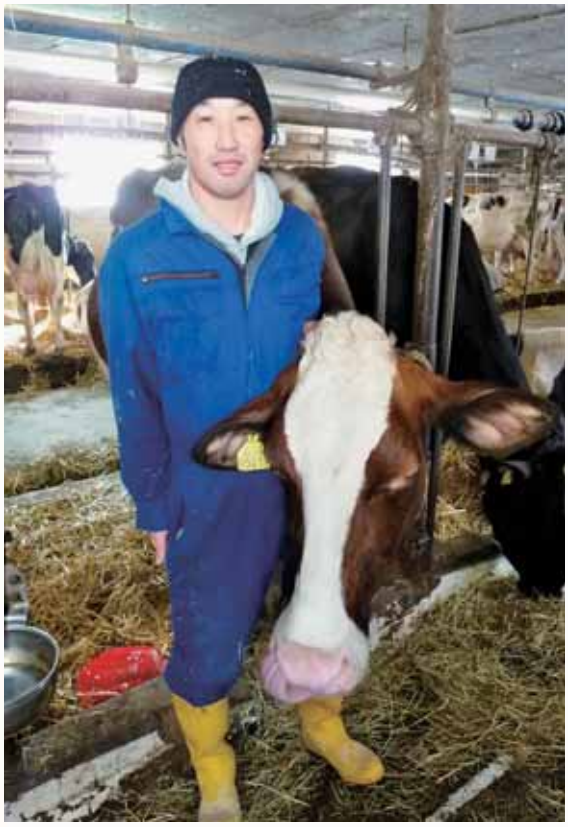
地区青年部の副部長として意気込み新たに

せたな町瀬棚区西大里の弥左直人さん（39）は今年度、若松基幹支店地区青年部の副部長に就任し、役員として地区の様々な行事に携わった。

今年度印象に残ったのもとして、8月に開催したカップリングパーティを挙げた。「カップル成立にはならなかったが、企画から進行まで部全体や既婚部員の夫婦が一体となって活動できたので、独身者に家族の大切さを伝えて、価値観を変える機会になった」と振り返る。

また、11月にはせたな町農業塾の先進地視察研修に参加し、酪農家2件を視察。「酪農の原点である牛づくりのための、土づくりや草づくりに真剣な姿勢を見て刺激を受けたので、学ぶべき点はしっかり身に付けて今後の営農に活かしたい」と意気込みを話した。

〈取材 若松支店　鳥倉健太〉



▲「青年部では代表の1人として、来年度はさらに盛り上げていきたい」と直人さん

大野

うどが収穫開始

北斗市追分の溝井隆さん（49）は、12月10日からうどの収穫作業を始めた。5月中旬頃まで続く見通し。隆さんをはじめ4件からなる上磯うど生産出荷部会では、道内一円に出荷していく。

昨年までは、12月下旬に収穫開始となっていたが、今年は市場の端境期等の情勢やより広く売り込みを図る意向から、半月ほど早い時期での開始を目指し、管理に取り組んできた。

10月下旬に株を定植し、掘り取ったうどは一時ハウスで伏せこまれた。今年の生育状況について「根に対する雨の影響が大きく、例年と比較すると伸び悩んでいる」としたものの、「温度管理を徹底し良質なうどができた。今年は作業開始の前倒しのので、収益アップを図りたい」と意気込んだ。

〈取材　大野支店　田中善晃〉

▲収穫が始まり「ぜひ食べて欲しい」と隆さん

不測の事態に備えて
金融店舗で防犯訓練

◀人質の安全と開放を訴える職員

１２月に入り強盗事件の発生しやすい年末年始を控え、金融店舗での強盗事件を想定した訓練を６支店の金融店舗で行った。

９日には函館中央警察署の協力を得て七重浜支店での実施。警察官が犯人に扮し、刃物でおどして客を人質にとり金銭を要求するという想定で、犯行を再現した。職員らは、人質の安全を最優先にしつつ時間を稼ぎ、逃げ去る犯人にカラーボールをぶつけたり、犯人の特徴を覚えて警察に伝えたりして訓練した。

同警察署生活安全課は「犯人は事前に下調べに訪れることが多いので、日頃の声掛けなど防犯意識が犯罪の抑止になります」と呼びかけた。

東出さんがアームレスリングで準優勝
第６３回全道ＪＡ青年部大会

◀自慢の腕力を振るった東出さんに会場から多くの声援が上がった

１２月４、５日の２日間、札幌パークホテルにて第６３回全道ＪＡ青年部大会が開催され、全道から７００名を超える青年部員が参加した。

青年部活動実績発表大会や分科会、スキージャンプ選手の船木和喜さんによる記念講演などが行われた。懇親会で催されたアームレスリング大会では、道南地区代表として知内地区青年部の東出雄太さん（２５）が出場。順調に勝ち進んだが決勝戦では後一歩のところで敗れ、準優勝を手にした。

東出さんは「優勝出来なかったことは悔しいが、道南代表として力を見せつけることができてよかった」と初参戦の感想を述べた。

お米の意外な一面に興味津々
農協職員が小学校で食育授業

◀児童らに白米になるまでの過程を説明する森川職員

１１月２８日、大野支店は北斗市立上磯小学校の５年生を対象に、お米をテーマにした食育授業を行った。同市は北海道の水田発祥の地。この食育授業は市内６校約２０クラスで行っている。同校教諭と給食センターの栄養教諭と連携して授業を進めた。

生産施設課の森川功輔職員から、精米して白米になるまでの過程について説明を受けた後、児童らは実際に籾を手に殻を剥いて玄米の姿を確認し「やっと普段から知ってる米が見られた」と興味を示していた。また菓子や調味料、飲料など米の加工品についても学んだ。

地元食材で料理多彩に
知内生活工夫展

◀工夫をこらした料理を試食する来場者

１２月１０日、知内支店女性部は地元食材の魅力を生かした料理や手芸などに光を当てる「第４回知内生活工夫展」を町の中央公民館で開いた。

ニラ料理、牛乳料理、漬物など食品５部門と、手芸など「リフォーム」部門に計１０５点の応募があった。このうち、特産のニラ部門には２８点の料理が寄せられた。

昼には一般町民にも公開され、ニラとイカのかき揚げ、ヤーコンのしょう油漬けなどが人気を集めた。

同女性部の笠松悦子部長は「地元の野菜を使った料理のレパートリーが広いことを、多くの町民の皆さんに知ってもらいたい」と話していた。

力を合わせてしめ縄を
大野支店女性部がしめ縄作り

◀力を合わせてしめ縄の完成を目指す

１２月１０日、大野支店女性部は同支店野菜集出荷場でしめ縄作りを行った。

しめ縄作りは、同女性部で技術の伝承と交流の場として毎年行っており、女性部のほか地域住民からも参加を募り、約３０人が参加した。

函館市の専門店で購入した稲わら４０㌔を、水で湿らせ、しなやかな状態でよじり、３束１組で合わせた端を押さえる役、きつく巻きつける役それぞれが力を合わせて、直径約１０㌢、長さ約１㍍になる神棚に飾り付ける「ごぼう」と、リース状に丸めて飾りをつけた玄関用の「しめ飾り」を完成させた。

地場産料理は安全で美味しい！
第20回お母さんの手作り料理フェスティバル

◀目当ての料理に手を伸ばす来場者ら

１２月６日、上磯支店女性部は北斗市総合文化センターで「第２０回お母さんの手作り料理フェスティバル」を開催した。

女性部員は、自家栽培の食材で「揚げごぼうのサラダ」など約５０品を用意したほか、上磯郡漁協女性部と協力して作った「ホッキカレー」を無料で提供し、訪れた約２００名の地元住民は用意された料理を堪能していた。また、他支店女性が作った、味噌や漬物、梅干も並べられ次々に売れていった。

山田房子部長は「来場者からレシピに興味を持ってもらえたり、他支店女性部から加工品の協力があって嬉しい」と話した。

伝統野菜を守る
函館赤かぶ千枚漬づくり

◀千枚漬の漬込みに取り組む女性部員

１２月１日から函館支店女性部は、函館市内の加工施設で伝統野菜の「函館赤かぶ」を使った千枚漬の漬け込みに取り組んでいる。

薄切りにした赤かぶを樽（たる）に移し、塩と砂糖、酢で漬け込む。着色料などの添加物は一切使わない。同女性部加工部の水島みよ子部会長は「伝統野菜を守る意味の他、今では女性部活動の貴重な収入源」と話す。今年は合わせて５４０㌔を漬け、「函館赤かぶ千枚漬」の名で、市内のホクレンショップ、生協、函館空港で販売する他、市内湯の川温泉のホテルや旅館で、食事に彩りを添える食材として提供される。

互いの特産食材を楽しむ
知内・木古内支店女性部が支店間交流

◀食材の下ごしらえをする女性部員

１２月１日、知内・木古内の両女性部２２人は、知内町中央公民館でおもてなし料理作りに挑戦する支店間交流を行った。

函館短期大学調理製菓専門学校の吉田徹教頭を講師に招き、「はこだて和牛とトマトのすき焼き」「ニラとサクラエビの塩炒め」「ふっくりんことイカのスパイス風味」「がごめ昆布のスイーツ」の４品を完成させた。

笠松悦子部長（知内）は「お互いの地域特産物を使って素晴らしい料理交流ができて良かった」、森永尚美部長（木古内）は「このような交流会をこれからも続けていきたい」と笑顔で感想を話した。

街の生き粋女性

知内町の教育を支えます

知内町教育委員会 野戸 あかり さん(20歳)

今月の生き粋女性は、知内町教育委員会で働く野戸あかりさんです。

あかりさんは知内町出身。東京の短期大学を卒業後、今年の4月から現在の職場で働き始めました。

町内の幼稚園から高校までの教育機関について、学力や生活、体力など各種実態調査、教科書の採択や配分など、教育に関する事務に携わっています。

「自分が小さい頃から、いろんな面でお世話になったので、教育に関わる仕事ができてとてもやりがいを感じています。学校の先生方とお話しできるのはとても楽しいです」と笑顔で話します。

「知内町の教育に貢献したい」とあかりさん

仕事で心がけている事は？

いろんな事務仕事を電話でやり取りする場面が多いので、聞き間違えないように、はっきり伝わるように心掛けています。

休日の過ごし方は？

スポーツが好きでバレーやスキーをしていたり、買い物に行ったりしています。

今後の抱負

仕事に少しずつ慣れてきましたが、周りの方からたくさん学んで、自分で物事を考えられるようになっていきたいです。

町内の教育を管理しています

はい、こちら厚沢部支店。

職員にインタビューしました！

厚沢部支店 貯金課
鷲田奈菜 職員(20)

厚沢部支店 生産施設課
由利直喜 職員(32)

大変なところは？

由利職員……生産者が苦労して作った食用馬鈴薯等の農産物が傷つかないよう、取扱いに細心の注意を払っています。

鷲田職員……窓口業務では、新しく覚える仕事が多いので、知識の習得と経験を積んで頑張ります。

休日の過ごし方は？

由利職員……買物、家の手伝いをしたりして過ごしています。

鷲田職員……友達と買物をしたり、バスケットボールをしたりしています。冬の間はスノーボードに行くことが多いです。

やりがいを感じる時は？

由利職員……汗をかいて働いている時にとてもやりがいを感じます。

鷲田職員……ささいなことでもお客様にありがとうと感謝の声を頂いた時が嬉しいです。

今後の目標は？

由利職員……組合員の皆様に信頼してもらえる職員になりたいです。

鷲田職員……組合員の皆様や地域のお客様とコミュニケーションを深めて頼られる職員になりたいです。

厚沢部支店

平成26年度 渡島・檜山管内

主要農作物の生育状況調査報告概要

渡島・檜山農業改良普及センター

作物名	生育状況・作柄概要	生育・作業期節

水稲（渡島・檜山）

調査対象品種
（ふっくりんこ）
（渡島北部：風の子もち）
（檜山北部：ななつぼし）

は種作業は平年並に開始され、高温・多照により出芽が順調であった。苗形質は、育苗障害が極めて少なく良好であった。移植後、高温・多照により活着・初期分げつは良好であったが、6月2半旬からの日照不足により分げつは大幅に停滞、軟弱徒長となった。6月下旬からの高温・多照により幼穂形成期・冷害危険期は順調に経過し、出穂は早まった。しかし、出穂以降の日照不足により、登熟停滞となり成熟期はやや早(渡島)～並(檜山)となった。

平年比	穂数	1穂籾数	稔実歩合	稔実籾数
渡島	105%	101%	99%	105%
檜山	113	94	103	108

収量は多く低蛋白であったが、登熟期間の低温・日照不足により、腹白・乳白・青未熟の発生が見られ、品質は平年よりやや劣った。（農政事務所の作況指数は、渡島１０５・檜山１０６）

	渡島	檜山
は種期	4/23	4/20
出芽期	4/28	4/25
移植期	5/25	5/24
活着期	5/29	5/31
幼穂形成期	7/6	7/1
出穂期	7/30	7/29
成熟期	9/18	9/16
収穫期	9/26	9/24

秋まき小麦（檜山）

調査対象品種
（きたほなみ）

越冬前の生育、越冬状況とも良好で起生期の茎数も確保できた。起生期以降4月下旬が高温で経過したことで生育は進んだが、少雨の影響で追肥が十分効かず、茎数・穂数は平年を下回った。

6月中旬の降雨でほ場水分が十分確保され、登熟期間も順調で粒重が重くなり、収量も平年を大きく上回った。品質も良かった。

起生期	4/4	（早 2）
幼穂形成期	4/28	（早 4）
止葉期	5/24	（早 4）
出穂期	6/1	（早 6）
乳熟期	6/27	（早 5）
成熟期	7/14	（早 4）
収穫期	7/20	（早 5）

大豆（檜山）

調査対象品種
（檜山本所：いわいくろ）
（檜山北部：ユウヅル）

は種作業は順調で、は種期・出芽期ともに早まった。出芽後の初期生育も順調であったが、7月に入り少雨の影響で生育が緩慢となり、開花期は平年より3日早い程度に縮まった。その後8月の日照不足や8月下旬・9月中旬に低温があり、生育の進みは緩慢となり、成熟期は平年より1日早かった。収量は平年並みだった。

は種期	5/28	（早 4）
出芽期	6/7	（早 3）
開花期	7/22	（早 3）
成熟期	10/4	（早 1）
収穫期	10/23	（早12）

小豆（檜山）

調査対象品種
（檜山本所：とよみ大納言）
（檜山北部：エリモショウズ）

は種作業は順調で、は種期は早まったが、少雨により出芽日数が延長され、出芽期は遅れた。出芽後、草丈の伸びはやや緩慢であったが、6月下旬以降の高温で生育は回復し、開花期は平年並となった。開花以降、8月の日照不足や8月下旬・9月中旬の低温があり、生育は進まず、成熟期も平年並となった。
収穫作業は順調で、収穫期が平年より2日早まった。
収量は粒重が重く平年を上回った。

は種期	6/3	（早 3）
出芽期	6/21	（遅 3）
開花期	7/31	（± 0）
成熟期	9/10	（± 0）
収穫期	10/23	（早 2）

ばれいしょ（渡島・檜山）

調査対象品種
（渡島本所：トヨシロ）
（檜山本所：メークイン）
（檜山北部：男爵薯）

植付作業は順調で平年より5日（渡島）～8日（檜山）早まった。4月からの高温・多照により萌芽は9～10日早まり、塊茎肥大が順調、開花も8～10日早まった。その後、6月中旬以降の降雨等の影響により、茎長が長く軟弱徒長傾向だった。収穫作業は、平年より早く始まり、順調に進んだ。

平年比	いも数	1個重	収量	澱粉価
渡島	やや多	やや重	多	やや高
檜山	やや少	重	多	高

	渡島	檜山
植付始	4/11	4/22
植付期	4/20	4/30
萌芽期	5/15	5/20
着蕾期	6/5	6/7
開花期	6/15	6/20
茎葉黄変期	7/31	8/3
収穫期	8/28	9/13

りんご（渡島）

調査対象品種
（つがる）

発芽は平年より2日早く、4月下旬以降の好天により開花は7日早まった。果実肥大は順調で平年を上回った。収穫は夜温の低下に伴い着色が進み、平年より早く開始された。果実品質は、サビ果の発生や強風の影響により外部品質は低下したが食味は良好だった。収量は平年を上回ったが、傷などにより外品が多かった。

発芽期	4/16	（早 2）
展葉期	4/26	（早 4）
満開期	5/17	（早 7）
落花期	5/25	（早 5）
摘果期	6/26	（早 3）
収穫期	10/25	（早 6）

サイレージ用とうもろこし（渡島）

調査対象品種
（110日タイプ）

春先は少雨により、は種作業は順調に進み平年より3日早く、出芽も6日早まった。しかし、その後の低温により生育は停滞した。6月下旬以降の高温で生育は回復し雄穂抽出期が平年より3日早くなった。登熟がやや緩慢で黄熟期は平年並であった。天候に恵まれ収穫作業は順調に進み平年より3日早く終わった。収量は平年並みだが、ＴＤＮ収量はやや低かった。

は種期	5/12	（早 3）
出芽期	5/28	（早 6）
雄穂抽出期	8/4	（早 3）
黄熟期	9/29	（± 0）
収穫期	10/2	（早 3）

※（ ）内は調査対象品種、生育・作業期節は地域全体値と平年差の遅速を記載

渡島農業改良普及センターのホームページ
http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm

檜山農業改良普及センターのホームページ
http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm

普及センター活動紹介、地域の動き・技術情報など、是非ご覧下さい！

今月 表紙

◀「育てるのが大変ですが、とても癒されています」と隆文さん

癒しの羊たちに囲まれて

今月の表紙は、未年にちなんで北斗市向野の井上隆文さん（49）が所有する羊（サフォーク種）を撮影しました。

9年前、会社員だった井上さんは、テレビ番組でオーストラリアやニュージーランドで生活する羊を見て「かわいい」と心打たれて、羊の飼育を決意。現在95頭を飼育しています。

普段心掛けている事について、「羊は体が弱い動物なので、毎日の観察が大切です。また群から遅れて外れる羊もいるので行動も注意して見ています」と温かな眼差しを羊に向けながら話しました。

羊を飼ってから初めての未年に向けて「さらに頭数を増やしていきたい」と意気込みました。

アンケート結果、プレゼント当選者発表

おかげ様で11月号で募集しました「えすぽわーる」に関するアンケートが総数１１５件となり、感謝申し上げます。今回いただきました内容は、今後の編集の参考にさせていただき、より皆さまの関心をいただける誌面づくりに取り組んでまいります。

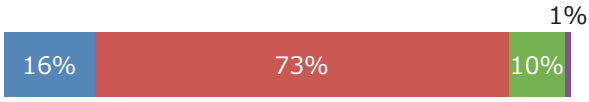
「えすぽわーる」で掲載しているJAや組合員組織の活動紹介について

■充実している　■それなりに充実している　■あまり充実していない　■全然足りない

「えすぽわーる」を通してJAを身近に感じますか

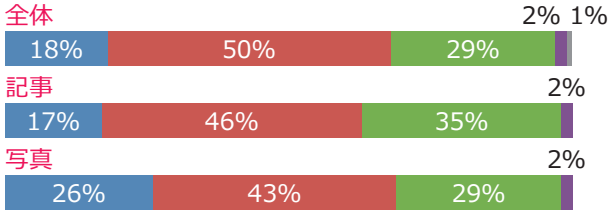
■とても感じる　■まあまあ感じる　■あまり感じない　■感じない

知りたい情報が掲載されていますか



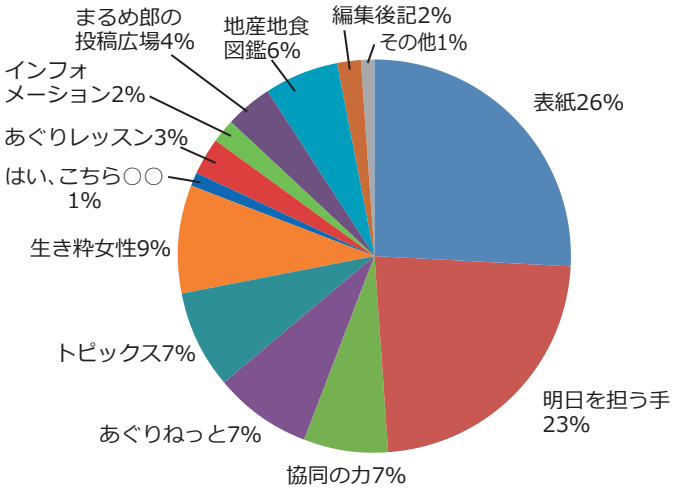
■多く掲載されている　■まあまあ掲載されている　■あまり掲載されていない　■全然掲載されていない

「えすぽわーる」の5段階評価



■優れている　■良い　■ふつう　■やや劣る　■まだまだ勉強不足

あなたの好きなコーナー（3つ複数回答）



プレゼント当選者

A はこだて和牛
- P.N ヒロ君さん（七飯町）

B 若松ポークマン
- 工藤正憲さん（七飯町）

C 農協ラーメン
- P.N 誠司さん（八雲町）
- 小坂寛和さん（七飯町）

D 農協のトマトカレー
- 斉藤英幸さん（北斗市）
- 岡島隆一さん（七飯町）
- 西山美津男さん（七飯町）

E 函館産（うまれ）本格いかめし
- P.N よっこらしょさん（北斗市）
- 大口寧さん（せたな町）
- 小林幹至さん（八雲町）

経営所得安定対策についての重要なお知らせです!

▶平成27年産から「畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)」と「米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)」の対象者要件が変わります!

平成２７年産のゲタ対策、ナラシ対策に加入するためには、加入申請期（平成２７年６月末）までに、認定農業者、集落営農、認定新規就農者になる必要があります。

※認定農業者などになるための手続きについては、市町村にお問い合わせください。

▶「そば」の要件が変わります!

品質の良い国産そばが安定的に供給されるよう、平成２６年産から麦や大豆と同様に、農産物検査を受けたそばのみがゲタ対策の対象となります。平成２７年産からは、平成２６年度中にそばの農産物検査の規格の見直しを行ったうえで、規格外品のそばはゲタ対策の対象外となります。

※農産物検査場所などについては、当ＪＡ各支店の営農センターにお問い合わせください

制度全般のお問い合わせ

北海道農政事務所　函館地域センター
電話：0138−26−7800

JA共済

一時払養老生命共済

貯蓄感覚で万一の備えをまとまった資金の活用に最適!

本店 共済課 小澤祐司

10年満期
満期時利回り

［満期時利回りとは］
一時払共済掛金に対する満期共済金の増加割合を共済期間で割ることにより算出した一時払共済掛金に対する一年あたりの利回り(単利)のことです。

0.70%

ご契約例
一時払共済掛金100万円
6歳～80歳(男性女性とも共通)
予定利率1.00%の場合

POINT 1
万一のときの保障もあわせて確保。
「一時払養老生命共済」は、資金を育てながら、万一の時の保障も確保できるのがポイント。共済期間中に万一のときには、「死亡共済金」をお受取りになれます。

POINT 2
簡単な告知でお申込みいただけます。
医師による診査なしの簡単な手続きで、お手軽にお申込みいただけます。

ご加入できる年齢
6歳～80歳

10年満期・予定利率1.00%の場合

共済年度	解約返れい金(課税前)	利回り(年平均)
1年	982,513円	—
2年	985,976円	—
3年	989,558円	—
4年	993,265円	—
5年	997,101円	—
6年	1,010,649円	0.17%
7年	1,024,815円	0.35%
8年	1,039,191円	0.48%
9年	1,053,780円	0.59%
満期時	1,070,654円	0.70%

●掛金額は、470,000円から1万円単位でご加入いただけます。

年末年始の金融店舗・ATM　営業時間のお知らせ

○＝営業日　　休＝年末年始休業日

月　日	12/27	12/28	12/29･30	12/31	1/1～1/3	1/4	1/5
曜　日	(土)	(日)	(月)～(火)	(水)	(木)～(土)	(日)	(月)
金融店舗	休	休	○	休	休	休	○
ATM (金融店舗)	○ 14:00まで	休	○	休	休	休	○
ATM ホクレンショップ大川店 ホクレンショップ森店 Aコープ道央八雲店	○	○ 17:00まで	○	○ (注1) 17:00まで	休	○ (注1) 17:00まで	○

(注1)Aコープ道央八雲店のATMは、12月31日(水)から1月4日(日)迄は休業となります。
※ 郵貯・セブン銀行等のATMは、1月1日(木)から1月3日(土)迄はご利用できません。

営農センターと資材店舗の通常営業は1／6（火）からとなります。

給油所　営業時間のお知らせ

月　日	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6
曜　日	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)
上ノ国	通常営業	8:00～15:00	休　業	休　業	8:00～17:00	休　業	8:00～17:00	通常営業
乙　部						8:00～17:00		
厚沢部								
若　松		休　業				休　業		
知　内		8:00～15:00				8:00～17:00		
木古内								
大　野								
大中山								
駒ケ岳								
濁　川		休　業			休　業	休　業	休　業	
八　雲		8:00～15:00			8:00～17:00	8:00～17:00	8:00～17:00	
長万部								

整備工場　営業時間のお知らせ

月　日	12/30	12/31～1/5	1/6
曜　日	(火)	(水)～(月)	(火)
厚沢部・知内・八雲	通常営業	休　業	通常営業

Aコープ　営業時間のお知らせ

月　日	12/28	12/29～12/30	12/31	1/1～1/4	1/5	1/6
曜　日	(日)	(月)～(火)	(水)	(木)～(日)	(月)	(火)
厚沢部店	臨時営業	通常営業	9:00～12:00	休　業	臨時営業	通常営業
館　店						
知内店						
若松店			休業（配送のみ）		休　業	

※ 12月31日(水)については、若松店以外の店舗が午前営業とし、例年どおり午後よりオードブル・お刺身・飲料等の配送を行います。(若松店のみ午前の配送を行います。)

つぶあんと生クリームが詰まった「やくもっちぃもなか」２１６円(税込)

広げよう！地産地食図鑑

★１０品目★
やくもっちぃもなか

「風の子もち」をもなかで

今月テーマの食材は、八雲町の特産「風の子もち」。餅のほか赤飯や大福など様々な食べ方で楽しまれています。今回は地元食材を使った銘菓を作り続ける「くら屋 菓子舗」の倉地勝美代表取締役が、今イチオシの「やくもっちぃもなか」をご紹介します。

３、４年前、当ＪＡ八雲支店から「風の子もちを使った新商品を」との要望があったのが始まり。様々な食材との組み合わせに悩んでいたある日、売れ残ったもなかに生クリームを付けて食べて見たところ「これはいける！」と確信を持ち、改良を重ね、26年６月から販売。くら屋特製もなか皮は、風の子もち１００％。イメージキャラクターの「やくもっちぃ」が目印です。町内をはじめ、町外のイベントで販売し、好評の声を博しています。

倉地代表は「つぶあんと生クリームの組み合わせは、若い人にも食べやすく仕上がって、オリジナルのもなか皮との相性も自慢です。ぜひご賞味ください」とＰＲしました。

お菓子の材料として使用した「風の子もち」

「八雲町をＰＲするお菓子になってほしい」と倉地さん

くら屋 菓子舗
住所：八雲町東雲町64−1　TEL：0137−62−3231
営業時間：９：30〜18：30（月〜土）・９：00〜17：00（日）　火曜定休

編集後記

◆新年明けましておめでとうございます。11月号で掲載しました当誌のアンケートには多数のご応募をいただきましてありがとうございます。集計して一番意外だったのは、好きなコーナーが「表紙」「明日を担う手」で半分近くの投票があったことです。他にも評価や激励等いただきありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見を参考に、来年度はよりパワーアップした誌面をお届けできるように精進してまいりますので、２０１５年もよろしくお願い致します。（諒）

まるめ郎アルバム

雪が降る毎日ですが、この日は奇跡的に雪化粧の駒ヶ岳を拝むことができました。2015年もよろしくお願いします。

えすぽわーる新函館
第149号　平成27年1月1日発行
発　行／新函館農業協同組合
住　所／〒041-1201　北斗市本町1丁目1番21号（北斗市総合分庁舎隣）
電　話／0138−77−5555（代表）
ＦＡＸ／0138−77−5566
編　集／企画室
印　刷／有限会社　三和印刷

JA新はこだて携帯サイト
http://www.ja-shinhakodate.jp/i/
バーコードリーダー機能付の携帯電話で左のQRコードを読み取ると簡単にアクセス可能です。

「えすぽわーる」とはフランス語で「希望」という意味。「えすぽわーる新函館が読者の皆さんに希望を届ける広報誌になって欲しい」という願いが込められています。